

市第218号議案 平成27年度横浜市一般会計補正予算(第4号) 文化観光局関係部分

1 事業費の補正 (予算議案3頁、5頁、予算説明書46頁、58頁)

旧関東財務局保全・耐震対策事業 Δ178,484千円

市指定有形文化財である旧関東財務局を、創造産業の集積を推進し、賑わいの創出及び経済の活性化につなげる中核施設として活用するため、耐震補強等の工事を行っています。
国庫補助事業の認証減に伴い、減額補正します。

(歳入)

(単位：千円)

款 項 目	補正前 の額	補正額	計	節	
				区分	金額
16款 国庫支出金	626,633	Δ 178,484	448,149		
2項 国庫補助金	622,758	Δ 178,484	444,274		
3目 文化観光費 国庫補助金	622,758	Δ 178,484	444,274	(1) 創造界限拠点 整備費補助金	Δ 178,484
〔旧関東財務局保全 ・耐震対策事業〕	262,288	Δ 178,484	83,804		

(歳出)

(単位：千円)

款 項 目	補正前 の額	補正額	計	補正額の財源			
				特 定 財 源			一般財源
				国 庫 支 出 金	市 債	その他	
4 款 文化観光費	8,548,694	Δ 178,484	8,370,210	Δ 178,484	—	—	—
1 項 文化観光費	8,548,694	Δ 178,484	8,370,210	Δ 178,484	—	—	—
2 目 創造都市 推進費	1,585,547	Δ 178,484	1,407,063	Δ 178,484	—	—	—
〔旧関東財務局保全 ・耐震対策事業〕	586,687	Δ 178,484	408,203	Δ 178,484	—	—	—

2 繰越明許費の補正 (予算議案10頁)

工事着手後に、当初の想定と異なるレンガ構造や創建当初の装飾等の状況が判明し、文化財としての調査及び保存方法の検討等に時間を要したため、27年度中に完了予定だった工事について、工期の延長が必要となりました。このため、繰越明許費を設定します。

(設定)

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
4 文化観光費	1 文化観光費	旧関東財務局保全・耐震対策事業	139,000

【補強が必要となった窓まわりのレンガ造(例)】



【創建当初の天井の内装仕上げや装飾(例)】



旧関東財務局活用事業について

1 施設の概要

所在地	横浜市中区日本大通34
建設年	昭和3(1928)年竣工
構造等	鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階
延床面積	1,981㎡
建築面積	382㎡
建物所有者	横浜市



〔旧関東財務局 外観〕

2 活用事業の仕組み

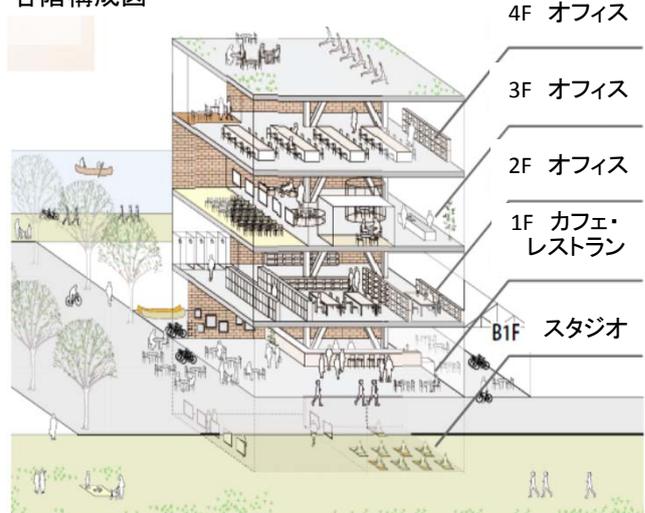
耐震補強及び躯体改修工事を横浜市が実施した後、建物及び中庭を一括して事業者に貸付きます。15年間の定期建物賃貸借契約で、貸付料は月額約260万円（税抜）です。事業者は内装等の工事を実施した上で、施設の運営・管理を行います。

3 事業計画の概要

事業者公募により選ばれた「株式会社横浜DeNAベイスターズ」は、「スポーツ×クリエイティブ」をテーマに、次の機能を導入し、創造都市施策と連携しながら、様々な創造的な取組を行います。

- (1) 次世代のスポーツ×クリエイティブを実践していく企業やクリエイターなどが入居するシェアオフィス
- (2) 横浜のクリエイターとスポーツ関連企業などがコラボレーションし、商品開発などを行うビジネスマッチングプログラム
- (3) ヘルシーメニューを開発・提供し、スポーツを楽しむ市民がコミュニティを醸成するヘルスケアカフェ・レストラン

各階構成図



4 事業スケジュール（予定含む）

平成25年	11月	横浜市指定有形文化財として指定
平成26年	8月	事業者の公募を開始
平成27年	2月	市による工事着手
	3月	事業予定者が「株式会社横浜DeNAベイスターズ」に決定
平成28年	8月	定期建物賃貸借契約締結、事業者による内装等工事着手
	9月	市による工事完了
	年内	事業者による内装等工事完了、オープン予定

	H27.2着工	H27年度	H28年度	夏	年内
当初		市による工事	事業者工事	★オープン	
変更後		市による工事		9月	★オープン

【参考】 総事業費 約8億1700万円（工事費、設計・工事監理費、調査費等 《H25～H28》）